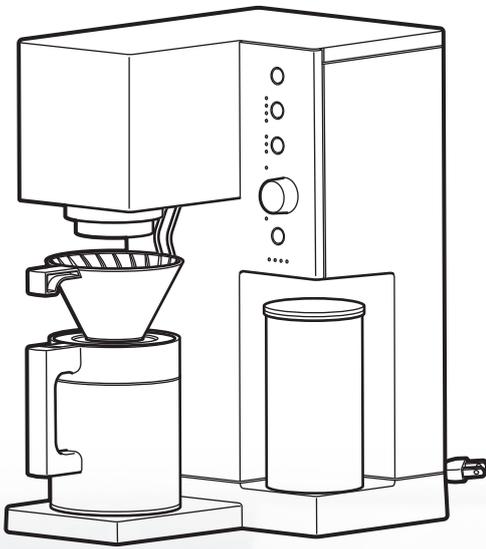


コーヒーメーカー（家庭用）

取扱説明書

エム シー エス ブイ ディー エイ

MC-SVD40A



Cafe Pro

<保証書付>

裏表紙に付いています

ダイニチ推奨のコーヒーレシピ
Web サイトをご覧ください。



<もくじ>

特徴	2
安全のために守っていただきたいこと	2
各部のなまえ	6
運転前の準備	8

お使いになる前に

コーヒー粉と水を入れましょう	9
抽出を行いましょう	12

正しい使い方

日常の点検、お手入れのしかた	15
定期点検のおすすめ	17
保管と廃棄のしかた	18
故障かな？と思ったら	19
部品のご注文のしかた	22
製品仕様	22
保証とアフターサービス	23

長くお使いいただくために

保証書	裏表紙
-----	-----

この製品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■製品アンケートへのご協力をお願いします
ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のお名前などの入力が必要です。

<https://www.dainichi-net.co.jp/p-enquete/>

ダイニチ工業 製品アンケート



■部品のご注文について [22ページ](#)

別売部品はお買い上げの販売店もしくは、「ダイニチ WebShop」でもご注文ができます。

<https://webshop.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチWebShop



※通信料などはお客様のご負担となります。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。

裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

特徴

このコーヒーメーカーは、味にこだわるお客様に向けた、抽出専用のコーヒーメーカーです。異なる2つの抽出方法を1台のコーヒーメーカーで再現し、「スッキリとした味わい(NEW WAVE)」と「濃厚な味わい(CLASSIC)」が楽しめます。ぜひ、本製品であなただけのこだわりの味を追求してください。

安全のために守っていただきたいこと

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

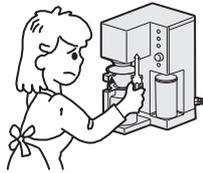
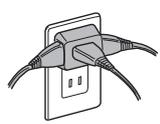
誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。
	このマークは、「注意」を促す内容を表しています。

お使いになる前に

 警告(WARNING)	
<p>分解修理・改造の禁止 故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。感電や火災の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。 </p> 	<p>本体内に異物を入れない 本体内に針金などの異物を入れないでください。火災・感電・けがの原因になります。</p> 
<p>交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する 他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> 	<p>交流100V以外での使用やタコ足配線をしてはいけない タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。</p> 

警告(WARNING)

異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く

異常や故障と思われるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。[23ページ](#)
火災・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

<異常・故障例>

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コードが破損している、通電したりしなかったりする
- 本体が変形している、異常に熱い
- 本体から水やコーヒーが漏れている
- 水やコーヒーを入れる容器にひび割れなどができた

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

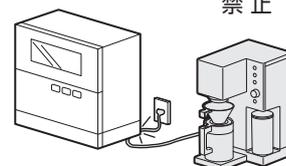
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

電源コードを傷めない

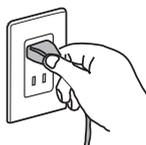
電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、束ねたまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

お手入れするときは電源プラグを抜く

感電やけがの原因になります。



プラグを抜く

電源コードの交換は製造業者が行う

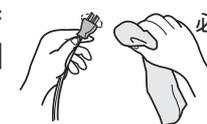
電源コードが破損した場合、電源コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくはその代理店または同等の有資格者によって行わなければなりません。修理や交換はお買い上げの販売店にご相談ください。[23ページ](#)



必ず行う

電源プラグのお手入れをする

電源プラグについたほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使用しない

この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で使用することを意図していません。責任者の監督・指導のもと、安全にご使用ください。やけど・けが・感電の原因になります。



禁止

お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しない

台所用中性洗剤以外の洗剤は使わないでください。部品の破損による火災や感電の原因になります。また、有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。



禁止

本体や部品で遊ばせない

この機器の上に乗ったり、遊ぶことがないように、子どもを監視することが望ましい。やけど・けが・感電の原因になります。



禁止

コーヒーボトルを直接加熱しない(コンロ、ストーブ、電気ヒーター、IH調理器、電子レンジなど)

火災・故障・変形の原因になります。



禁止

他の製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない

やけど・けが・感電・火災・故障の原因になります。



禁止

警告(WARNING)

水に浸けたり、水などをかけたりしない

本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけたりしないでください。
水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。
水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。23へ-J



水ぬれ禁止

回転物注意

- ノズルを押さえるなどして回転を止めないでください。モーターに負荷がかかり、火災や故障の原因になります。
- 運転中はノズルに手を近づけないでください。また、髪の毛やネックレスなどが巻き込まれないようにしてください。けがの原因になります。



回転物注意

注意(CAUTION)

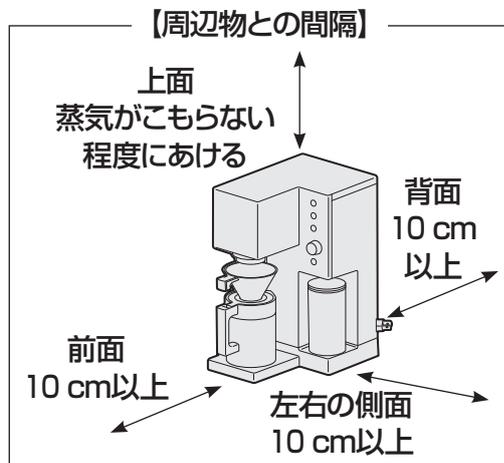
次の場所では使用しない

火災・感電・やけど・けがの原因になります。

- 水のかかる場所や水が多い場所
- 風が当たる場所、部屋の出入り口、屋外
- ほこりが多い場所
- 箱や狭い棚などで本体が囲われる場所、蒸気がこもる場所
- 水平でない場所、不安定な場所、落下のおそれがある場所
- 子どもやペットの手の届く場所
- 直射日光の当たる場所、ガスこんろなどの炎や熱気のあたる場所
- エアコン・暖房機の温風が直接あたる場所
- 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- 5℃未満の低温や40℃超えの高温になる場所
- 湿気が多い場所、蒸気が発生する機器の近く



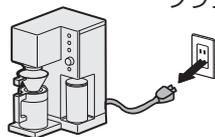
禁止



なお、壁などから右図に示す間隔を確保してください。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

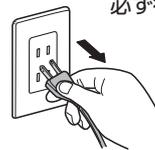
けがややけど、絶縁劣化による感電や火災の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

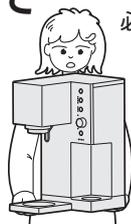
電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。火災や感電の原因になります。



必ず行う

本体を運ぶときは必ずコーヒーボトル、水タンクを取り外し、本体底部や本体胴部を持って運ぶ

コーヒーボトル、水タンクを取り外さないと落下して、破損・けがの原因になります。



必ず行う

蒸気が出るところには顔を近づけたり手を触れない

やけどのおそれがあります。特に乳幼児には触れさせないようにご注意ください。



高温注意

通常の使用時には、圧力逃がし孔をふさがない

不意にお湯が出てやけどの原因になります。



禁止

ドリッパー検知レバーに手を触れない

不意にお湯が出てやけどの原因になります。

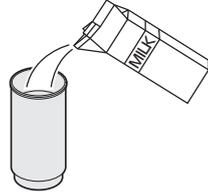


接触禁止

⚠ 注意(CAUTION)

水タンクに水以外のものを入れない

異常動作・故障の原因になります。
なお、洗浄運転時はクエン酸を入れてもかまいません。



禁止

ドリップ中は、コーヒーボトルを引き出さない

やけどの原因になります。



禁止

ドリッパー、ボトルフタ、コーヒーボトルなしで使用しない

やけどの原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくの間は本体に手を触れない

ノズル周辺や本体上部に手を触れないでください。
高温のため、やけどの原因になります。



高温注意

本体、水タンク、ドリッパー、コーヒーボトルを落下させたり、衝撃を与えたりしない

やけど・けが・感電・火災・故障の原因になります。



禁止

本体上部に物や液体などが入った容器を置いたりしない

火災・故障の原因になります。



禁止

コーヒーボトルは空にしてから使用する

コーヒーボトルにコーヒー、お湯などを入れた状態で抽出を行うと、コーヒーやお湯があふれて、やけどや感電の原因になります。



必ず行う

許容量以上のコーヒー粉を入れない

コーヒー粉を入れ過ぎるとコーヒーがあふれて、やけどの原因になります。



禁止

<コーヒー粉の許容量>

NEW WAVE: 45g / CLASSIC: 50g

お願い

コーヒー粉を入れる前に、必ず紙フィルターを取り付ける

ドリッパーやコーヒーボトルの汚れ、故障の原因になります。

使用後は必ずお手入れをする

ドリッパーにコーヒー粉を残したままにしたり、水タンク内に水を残したままにしたりすると、臭い・腐敗による健康被害・故障の原因になります。

定期的に本体内部のお手入れを行う 16ページ

故障やノズル内部の詰まりなどによりお湯が飛散し、やけどの原因になります。

水タンクに40℃以上のお湯を入れない

やけど・故障の原因になります。

水タンク、ドリッパー、コーヒーボトル、ボトルフタ、計量カップのお手入れに食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使用しない

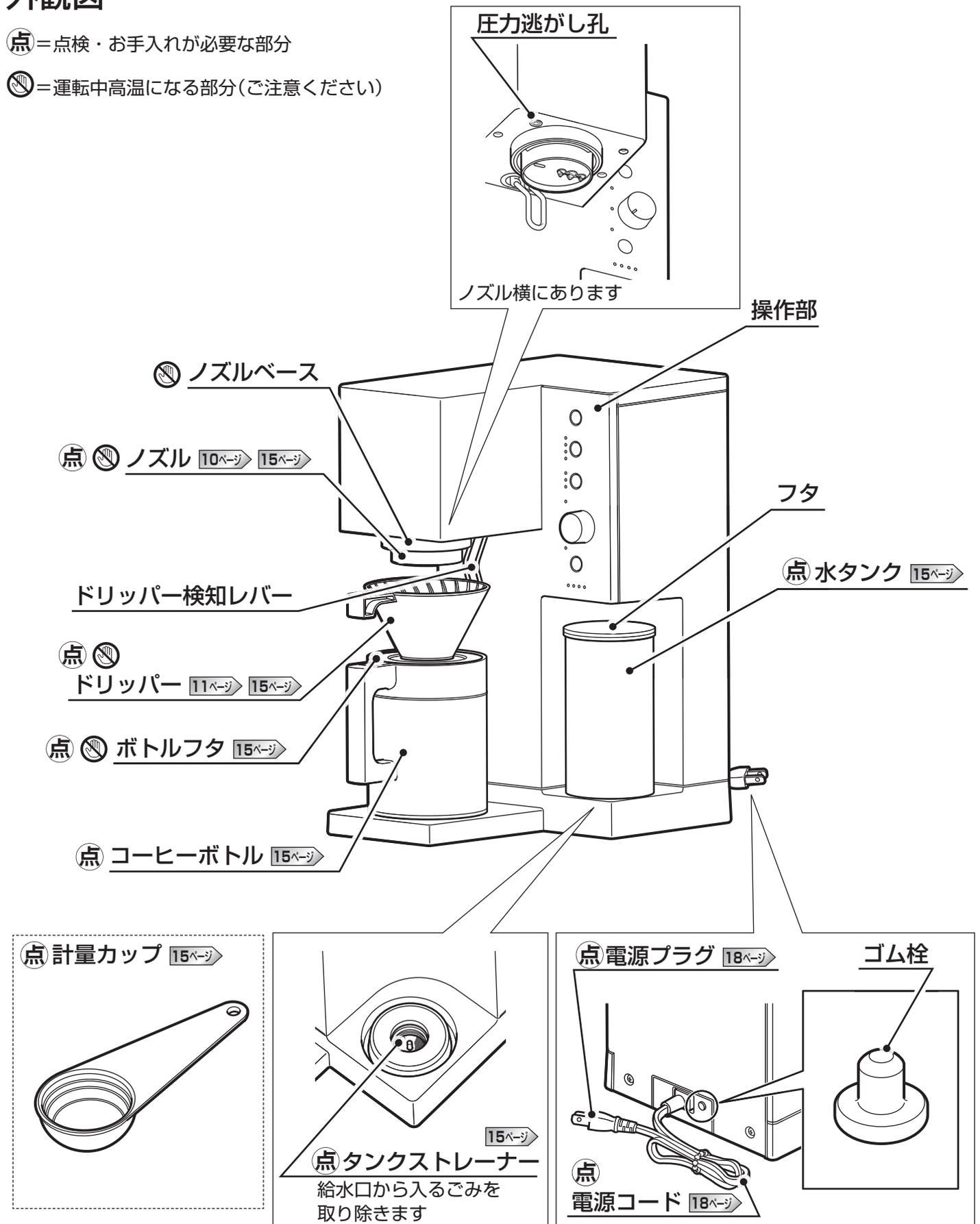
熱による変形・故障の原因になります。

各部のなまえ

外観図

● = 点検・お手入れが必要な部分

⊘ = 運転中高温になる部分(ご注意ください)

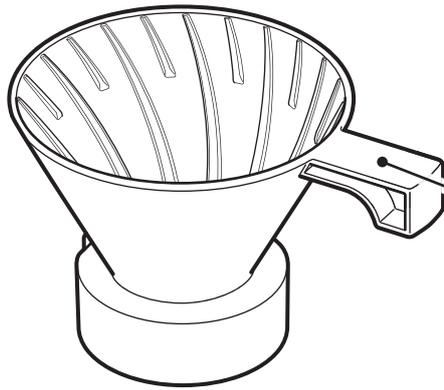


お使いになる前に

運転モードにあわせて付け替える部品

<NEW WAVE>

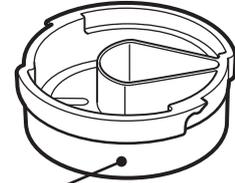
ドリッパー NEW WAVE



印字位置  NEW WAVE

ドリッパーとノズルには各モードのロゴとモード名が印字されています。

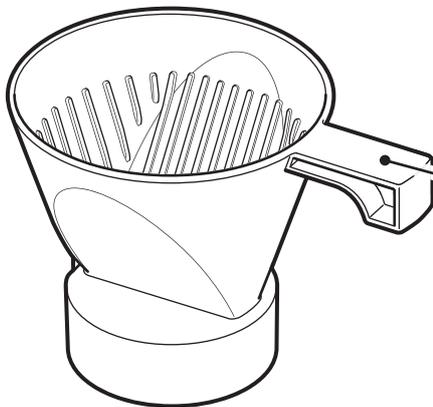
ノズル NEW WAVE



印字位置  NEW WAVE

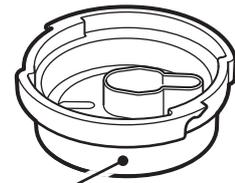
<CLASSIC>

ドリッパー CLASSIC



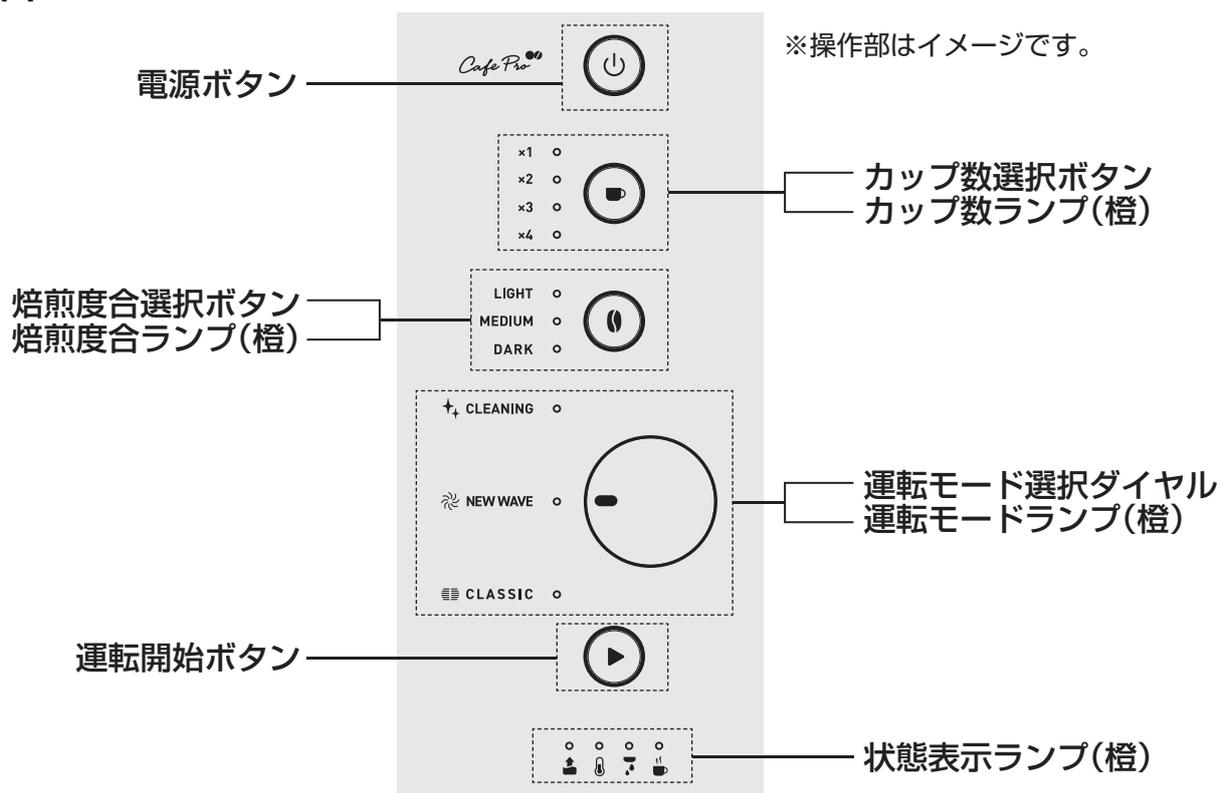
印字位置  CLASSIC

ノズル CLASSIC



印字位置  CLASSIC

操作部



運転前の準備

1 本体を設置する

次の場所に設置してください。

- 本体(電源コードを含む)に、水がかからない場所
- 設置した際に、本体にガタつきがなく、水平で安定している場所
- 箱や狭い棚などで本体が囲われない場所
- 室内温度が5℃～40℃の場所

2 電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む。

お守りください

- 家庭用電源(100V)以外では使用しないでください。動作異常や予想しない事故の原因になります。
- 200V電源には絶対に差し込まないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 定格15Aのコンセントを単独で使用し、他の機器と併用したり、延長コードを使用したりしないでください。定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

3 CLEANINGモードで洗浄する(ドリッパー NEW WAVEを使用)

メモ

- 初めてお使いになるときや1週間程度お使いにならなかったときは、次のように洗浄してください。
- 水タンク、ドリッパー、ノズル、ボトルフタ、コーヒーボトルを水洗いしてください。
 - CLEANINGモードで洗浄運転を1～2回行ってください。なお、洗浄運転は1回につき約15分かかります。

1 コーヒーボトルにボトルフタ、ドリッパーの順で取り付け、本体に取り付ける。

2 水タンクを取り付け、電源ボタンを押して電源を入れる。◀7ページ

- 水タンクに4杯の目盛りまで水を注ぎ、フタをして本体に取り付ける。

3 運転モードを「CLEANING」に設定し、運転開始ボタンを押して洗浄運転を行う。◀7ページ

- 洗浄運転完了後、ブザーとすべての状態表示ランプの点灯で終了をお知らせします。コーヒーボトルとドリッパーを取り外して、コーヒーボトル内のお湯を捨ててください。

お守りください

ノズルベースやドリッパー周辺に手などを近づけないでください。また、ドリッパー NEW WAVEを必ず使用してください。熱湯がとび跳ねやすく、やけどのおそれがあります。

コーヒー粉と水を入れましょう

コーヒー粉の量は下記の推奨レシピ表を参考に、焙煎度合、挽き目にあわせてお好みで調整してください。

推奨レシピ表

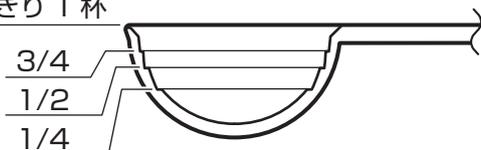
操作部で設定する項目					
運転モード	焙煎度合	カップ数	挽き目	粉の量 [g]	計量カップを使ったときの杯数
NEW WAVE  スッキリとした味わいが特徴です	LIGHT (浅煎り)	1	中細挽き	11	1杯
		2		20	2杯
		3		28	2と3/4杯
		4		36	3と3/4杯
	MEDIUM (中煎り)	1		10	1と1/4杯
		2		20	2と3/4杯
		3		28	3と3/4杯
		4		37	5杯
	DARK (深煎り)	1		10	1と1/2杯
		2		19	2と3/4杯
		3		28	4と1/4杯
		4		38	5と3/4杯
CLASSIC  濃厚な味わいが特徴です	LIGHT (浅煎り)	1	中挽き	15	1と1/2杯
		2		25	2と1/2杯
		3		35	4と1/2杯
		4		45	5と1/2杯
	MEDIUM (中煎り)	1		15	2杯
		2		25	3と1/4杯
		3		35	4と1/2杯
		4		45	6杯
	DARK (深煎り)	1		15	2と1/4杯
		2		25	3と3/4杯
		3		35	5と1/4杯
		4		45	6と3/4杯

正しい使い方

計量カップについて

計量カップの内側の線が計量の目安となります。

すりきり 1 杯



※計量カップすりきり1杯約 7~10g

- ・コーヒー豆の種類や焙煎度合により変化します。
- ・目安量のため、はかりで計量することをお勧めします。

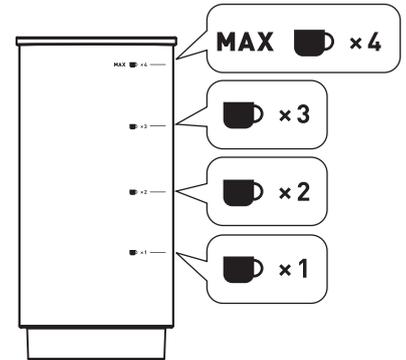
1 水タンクを取り付ける

お守りください

- 水タンクに40℃以上のお湯を入れないでください。水タンクが破損したり、本体が故障したりするおそれがあります。
- タンクストレーナーに水タンクをしっかりと差し込んでください。水が供給されにくくなるおそれがあります。

1 水タンクを目盛りにあわせて水を入れる。

- 水は、抽出するコーヒーのカップ数にあわせて入れてください。



2 水タンクにフタをして、本体に取り付ける。

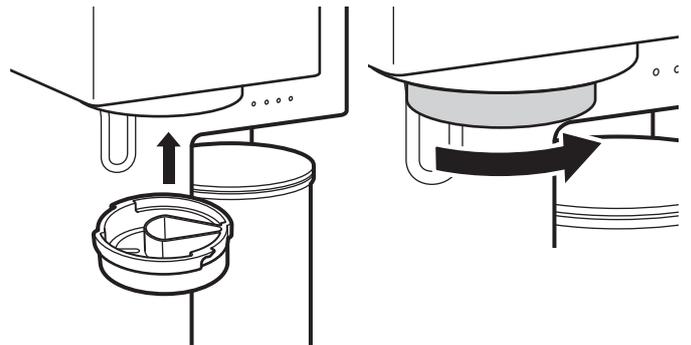
メモ

運転モードによって使用する水量が異なるので、抽出終了後に水タンク内に水が残ることがあります。

2 ノズルを取り付ける

1 ノズルをノズルベースに取り付ける。

- ノズルは、お好みの運転モードにあわせて選択してください。◀7ページ
- ノズルをノズルベースに差し込み、右図の矢印の方向にカチッと音がするまで回します。



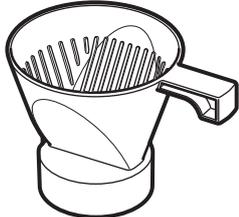
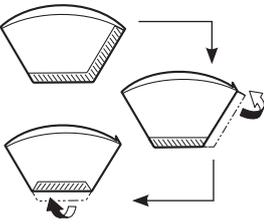
お守りください

ノズルを交換する際は、必ず運転を停止させ、十分に本体が冷えてから行ってください。

3 コーヒー粉を入れる

1 ドリッパーに紙フィルターを取り付ける。

○ドリッパーは、お好みの運転モードにあわせて選択してください。◀7ページ

運転モード	ドリッパー	紙フィルター
NEW WAVE NEW WAVE		円錐型の紙フィルター（1～4杯用）を使用してください。 ミシン目を折り曲げ、ドリッパーに取り付けてください。 
CLASSIC CLASSIC		台形型の紙フィルター（1～4杯用）を使用してください。 底面と横のミシン目をお互い逆方向に折り曲げ、ドリッパーに取り付けてください。 

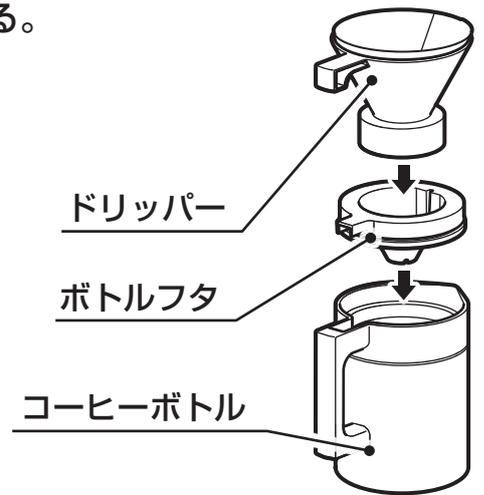
メモ

ドリッパーの種類と、紙フィルターの種類およびサイズをご確認のうえ、ご使用ください。

2 コーヒーボトルにボトルフタ、ドリッパーを取り付ける。

3 紙フィルターにコーヒー粉を入れる。

○計量カップまたははかりで計量したコーヒー粉を紙フィルターに入れます。

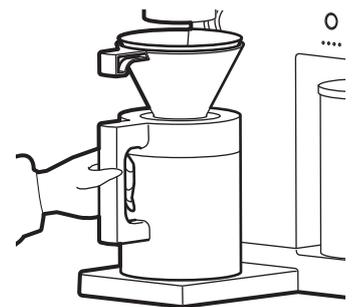


お守りください

許容量以上のコーヒー粉を入れないでください。（NEW WAVE：45g、CLASSIC：50g）抽出中にコーヒーおよびコーヒー粉があふれるおそれがあります。

4 コーヒーボトルとドリッパーを、本体に取り付ける。

○コーヒーボトルの取っ手を持ち、コーヒーボトル設置部の凹みに合わせ、本体に取り付けます。

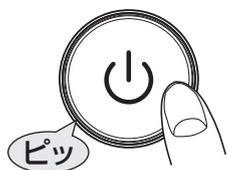


お守りください

ドリッパーを強く差し込まないでください。ドリッパー検知レバーが強く押されて故障の原因になります。

抽出を行いましょう

1 電源ボタンを押して、電源を入れる



操作部の各ボタンのランプが点灯します。

2 抽出するカップ数を選択する

- ×1 ○
- ×2 ○
- ×3 ○
- ×4 ○



カップ数選択ボタンを押して、抽出するカップ数を選択します。

- カップ数は、水タンクに入れた水の容量とあわせて選択してください。
- カップ数選択ボタンを1回押すごとにカップ数が1つずつ増え、4杯の選択中にもう一度押すと1杯に戻ります。

3 コーヒー粉の焙煎度合を選択する

- LIGHT ○
- MEDIUM ○
- DARK ○



焙煎度合選択ボタンを押して、投入するコーヒー粉の焙煎度合を選択します。

- 焙煎度合選択ボタンを1回押すごとに、焙煎度合が切り換わります。

焙煎度合	焙煎度合ランプ	投入するコーヒー粉
LIGHT	「LIGHT」ランプが点灯	浅煎り
MEDIUM	「MEDIUM」ランプが点灯	中煎り
DARK	「DARK」ランプが点灯	深煎り

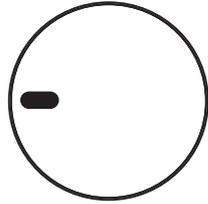
- 焙煎度合選択ボタンを、「DARK」の選択中にもう一度押すと「LIGHT」に戻ります。

4 運転モードを選択する

✦ CLEANING ◦

☼ NEW WAVE ◦

≡ CLASSIC ◦



運転モード選択ダイヤルを回して、運転モードを選択します。

運転モード	運転モードランプ	機能
CLEANING	「CLEANING」ランプが点灯	本体内部の洗浄および排水を行います。16ページ▶▶ 17ページ▶▶
NEW WAVE	「NEW WAVE」ランプが点灯	スッキリとした味わいを生み出す抽出方法です。
CLASSIC	「CLASSIC」ランプが点灯	濃厚な味わいを生み出す抽出方法です。

5 運転開始ボタンを押して、抽出を開始する



抽出を開始します。
抽出時間は約5分～11分です。
(カップ数の選択によって変わります。)

- 抽出中は本体の動作内容にあわせて状態表示ランプが点滅、点灯します。
- 抽出終了はブザーと状態表示ランプの点灯、操作部各ボタンのランプの点滅でお知らせします。

● お守りください ●

- 抽出運転中は、ノズル周辺に手などを近づけないでください。熱湯が出てくるのでやけどのおそれがあります。
- 運転中にコーヒーボトルおよびドリッパーを外さないでください。外すと運転が途中で停止し、抽出ができなくなります。また、熱湯が出てくるのでやけどのおそれがあります。なお、コーヒーボトルおよびドリッパーを外して途中停止した場合は、再度取り付けた後に運転開始ボタンを押すと抽出運転を再開できます。
- 回転中のノズルをおさえないでください。回転中に力かけると故障のおそれがあります。また、熱湯が出てくるのでやけどのおそれがあります。

メモ

- 抽出運転開始後に電源ボタンを押すと、抽出を途中で停止することができます。この場合、抽出を再開することはできません。必ず排水運転(17ページ)を行い、「水タンクを取り付ける」(10ページ)から抽出操作をやり直してください。
- お湯が出終わったあともしばらくはポンプが動いているため、ノズル周辺から音がしますが、異常ではありません。

抽出運転中に操作部の状態表示ランプで抽出の進み具合が確認できます。

状態表示ランプについて



- 抽出運転がスタートすると、進行中の状態のマークが順に点滅します。
- 完了した状態のランプは点灯を続けます。
- 抽出運転が完了すると、ブザーが鳴り、すべてのランプが点灯し、コーヒーの完成をお知らせします。

			
水タンクから水を吸い上げています。	お湯を沸かしています。	コーヒーを抽出しています。	コーヒーが完成しました。

6 コーヒーをカップに注ぐ

コーヒーボトルの取っ手を持って本体から取り出し、ドリッパーを外してカップに注ぎます。

- 図のように、ボトルフタを指で押さえながら注いでください。
- 必ず注ぎ口からコーヒーを注いでください。
コーヒーが手などにかかり、やけどのおそれがあります。



7 電源ボタンを押して、電源を切る

電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

8 部品の清掃、後片付けを行う

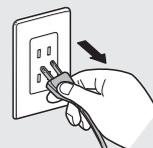
本体や部品の清掃を行います。 [15ページ](#)

- 水タンクに残った水は必ず捨ててください。

日常の点検、お手入れのしかた

お守りください

- 点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。(ただし、「CLEANING」モードの使用時を除く) また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。
- お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、健康被害を引き起こしたりする原因になります。定期的にお手入れを行ってください。



ご使用のたびに

下表に従い、各部品や本体の清掃を行ってください。
また、「排水運転のしかた」(17ページ)に従い、排水運転を行ってください。

部品	お手入れ
ドリッパー	本体から取り出し、付着したコーヒー粉や残った水を捨てて、やわらかいスポンジで水洗いしてください。
ボトルフタ	
コーヒーボトル	・水洗い後はよく乾かしてください。
水タンク	・水アカが気になる場合はやわらかい布などで拭いて乾かしてください。
ノズル	・汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を使って洗い落としてください。
本体	コーヒーボトル、ノズル周辺などにコーヒーが飛び散ることがあります。汚れている場合は、ぬらしてよく絞ったふきんなどでやさしく拭いてください。本体に水を直接かけないでください。

汚れているときや定期的なお手入れ

下表に従い、各部品の清掃を行ってください。

部品	お手入れ
タンク ストレーナー	網にごみがたまっている場合は、歯ブラシやピンセットなどで取り除いてください。
計量カップ	コーヒー粉がついたり、油汚れが気になる場合は、水洗いをしてください。汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を使ってスポンジなどで洗い流してください。洗い流した後は必ずやわらかい布などで拭いて乾かしてください。

お守りください

タンクストレーナーの清掃時は、周辺のパッキンを傷つけないでください。水が漏れたり、水が流れにくくなるおそれがあります。

本体内部のお手入れ(ドリッパー NEW WAVEを使用)

定期的に「CLEANING」モードを使用して、本体内部経路の洗浄を行ってください。

クエン酸洗浄のしかた

お湯の出が悪くなったときや、月に1回程度の頻度で定期的に、内部のカルキや水アカを除去するときに行ってください。

- 1 電源コードを接続する。
- 2 クエン酸水を用意し、水タンクに入れる。
 - 水タンクを目盛りにあわせて、4目盛り分の水を計量して別容器に移し、クエン酸大さじ1杯を加えてよく混ぜてクエン酸水を作り、水タンクに戻します。
- 3 水タンクにフタをして、本体に取り付ける。
- 4 コーヒーボトルにボトルフタ、ドリッパーの順で取り付け、本体に取り付ける。
 - ノズルは不要です。
 - 洗浄運転では、ドリッパーはNEW WAVEを使用してください。
- 5 電源ボタンを押して電源を入れ、運転モードを「CLEANING」に設定する。
- 6 運転開始ボタンを押して洗浄運転を行う。
 - ノズルベースから排水されます。
 - 洗浄運転完了後、ブザーとすべての状態表示ランプの点灯で終了をお知らせします。
- 7 コーヒーボトルとドリッパーを取り外して、コーヒーボトル内のお湯を捨てる。
- 8 クエン酸を入れずに、水だけで手順2～7を繰り返しすすぎを行う。
 - クエン酸のにおいが気にならなくなるまで、3～4回を目安に繰り返します。
- 9 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

お守りください

ノズルベースやドリッパー周辺に手などを近づけないでください。また、ドリッパー NEW WAVEを必ず使用してください。熱湯がとび跳ねやすく、やけどのおそれがあります。

排水運転のしかた

次のような場合に、本体内部の水を排出してください。

- ・ご使用のたびに
- ・エラーで途中停止した場合
- ・長期保管する前

メモ

排水運転を行うときは、水タンクは必要ありません。

- 1 電源コードを接続する。
- 2 コーヒーボトルにボトルフタ、ドリッパーの順で取り付け、本体に取り付ける。
 - ノズル、水タンクは不要です。
 - 排水運転では、ドリッパーはNEW WAVEを使用してください。
 - エラーで途中停止した場合には、ドリッパー内のコーヒー粉を取り出してください。
- 3 電源ボタンを押して電源を入れ、運転モードを「CLEANING」に設定する。
- 4 運転開始ボタンを押して、排水運転を行う。
 - ノズルベースから排水されます。
 - 排水運転完了後、ブザーとすべての状態表示ランプの点灯で終了をお知らせします。
- 5 コーヒーボトルとドリッパーを取り外して、コーヒーボトル内のお湯を捨てる。
- 6 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

お守りください

ノズルベースやドリッパー周辺に手などを近づけないでください。また、ドリッパー NEW WAVEを必ず使用してください。熱湯がとび跳ねやすく、やけどのおそれがあります。

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。定期的にお買い上げの販売店などに点検依頼（有料）をおすすめします。

愛情点検		長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。・電源プラグや電源コードが異常に熱い。・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。・運転中に異常な音や振動がする。・その他の異常や故障がある。	ご使用中止 事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

保管と廃棄のしかた

長期間使用しないとき

1 排水運転を行う

「排水運転のしかた」(17ページ)に従い、排水運転を行ってください。

2 本体のお手入れを行う

- 「日常の点検、お手入れのしかた」(15ページ)に従い、各部のお手入れを行ってください。
- 電源プラグ・コードのほこりや汚れをふき取ってから、電源コードを束ねてください。

3 購入時の包装箱、ポリ袋などに入れて保管する

- 本体を傾けたり、横倒しにしたりしないでください。
- 湿気の少ないところに保管してください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症状	原因	処置方法
電源が入らない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水が漏れている	水タンクが正しく取り付けられていない。	水タンクを正しく取り付けてください。◀10ページ
コーヒーがあふれる	紙フィルターが入っていない、または正しく取り付けられていない。	紙フィルターを正しく取り付けてください。◀11ページ
	前回使用した紙フィルターを交換せず使用した。	紙フィルターを交換し、正しく取り付けてください。◀11ページ
	ドリッパー・コーヒーボトルが正しく取り付けられていない。	ドリッパー・コーヒーボトルを正しく取り付けてください。◀11ページ
	コーヒーボトルに以前抽出したコーヒーやコーヒー以外の液体、氷などが入っている。	コーヒーボトルは空の状態で抽出してください。
	コーヒー粉の量が多い。	許容量以上のコーヒー粉を入れしないでください。◀11ページ
お湯の出方が悪い	内部の配管がカルキで詰まっている。	クエン酸洗浄を行ってください。◀16ページ
	ノズルの穴が詰まっている。	異物があれば取り除き、ノズルのお手入れを行ってください。
お湯がにおう	長期間使用していない。	「運転前の準備」を行ってください。◀8ページ
	クエン酸洗浄後のすすぎを行わなかった。	クエン酸洗浄後のすすぎを実施してください。◀16ページ
コーヒーが薄い	ノズルが付いていない。	ノズルを正しく取り付けてください。◀10ページ
	コーヒー粉の量が少ない。	推奨レシピを基準に調整してください。◀9ページ
	コーヒー粉の挽き目が粗い。	
コーヒーが濃い	コーヒー粉の量が多い。	推奨レシピを基準に調整してください。◀9ページ
	コーヒー粉の挽き目が細かい。	
コーヒーがぬるい	ドリッパー、コーヒーボトルが冷えている。	運転前に部品をお湯で温めてください。
抽出後に水タンクに水が残る	設定毎の最適な水の量を製品側で測っているため。	異常ではありません。抽出完了後、残った水は捨ててください。
圧力逃がし孔からお湯が出てくる	内部の配管がカルキで詰まっている。	クエン酸洗浄を行ってください。◀16ページ
お湯が出終わった後もノズル周辺から音がする	お湯が出終わってからもしばらくはポンプが動いているために出る音です。	異常ではありません。

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行ってください。

操作部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
カップ数ランプ(橙) 「x1」「x2」が点灯	一時停電したため自動停止した。 または電源プラグが抜けたため、 自動停止した。 (停電安全装置が作動)	排水運転を行ってください。◀17ページ
	電源ボタンを押して、抽出(または 運転)を途中で停止した。	
カップ数ランプ(橙) 「x2」「x3」が点灯	本体を傾けたり、転倒したため、 自動停止した。 (転倒自動停止装置が作動)	電源プラグをコンセントから抜き、本体の水分を完全に乾かしてから、排水運転を行ってください。◀17ページ
カップ数ランプ(橙) 「x3」「x4」が点灯	室温が異常(5℃未満)になった ため自動停止した。 (室温異常自動停止装置が作動)	設置方法を確認した後、排水運転を行ってください。 再度同じエラー表示が出た場合は、時間を置いてから、 再度排水運転を行ってください。◀17ページ
カップ数ランプ(橙) 「x1」「x3」が点灯	水タンクに水を入れていない。 または、水の量が不足している。	水タンクを本体から外して、選択したカップ数の目盛り りまで水を入れて再度水タンクを本体に取り付けてく ださい。 その後、運転開始ボタンを押して、抽出運転を再開し てください。
	水タンクが確実に取り付けられ ていない。	
	タンクストレーナーが詰まっ ている。	タンクストレーナーのお手入れを行ってください。 ◀15ページ
	点検・修理が必要な故障です。	水タンクに水を入れても再度エラー表示が出たとき は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ の販売店にご相談ください。23ページ▶
カップ数ランプ(橙) 「x1」「x4」が点灯	抽出運転およびCLEANINGモ ードでの運転開始時に、コーヒ ーボトルとドリッパーが取り付 けられていない。	コーヒーボトルとドリッパーを取り付け、運転開始 ボタンを押して、運転を再開してください。
	抽出運転およびCLEANINGモ ードで運転中にコーヒーボトルと ドリッパーを外した。	
カップ数ランプ(橙) 「x1」「x2」「x3」が点灯	ノズルの回転が妨げられている。	ノズルの回転を妨げているものを取り除いて、運転開 始ボタンを押してください。
	点検・修理が必要な故障です。	再度エラー表示が出た場合は、電源プラグをコンセ ントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 23ページ▶
カップ数ランプ(橙) 「x1」「x2」「x4」が点灯	圧力逃がし孔がゴム栓などでふ さがれている。	ゴム栓などの圧力逃がし孔をふさいでいる物を外し て、排水運転を行ってください。◀17ページ
上記組合せ以外のランプが 点灯している	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、ゴム栓を圧力逃が し孔にしっかりと挿し込んで、お買い上げの販売店に ご相談ください。21ページ▶ 23ページ▶

処置を行っても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。[23ページ](#)
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

抽出運転または洗浄運転中に点検、修理が必要なエラーが出た場合、

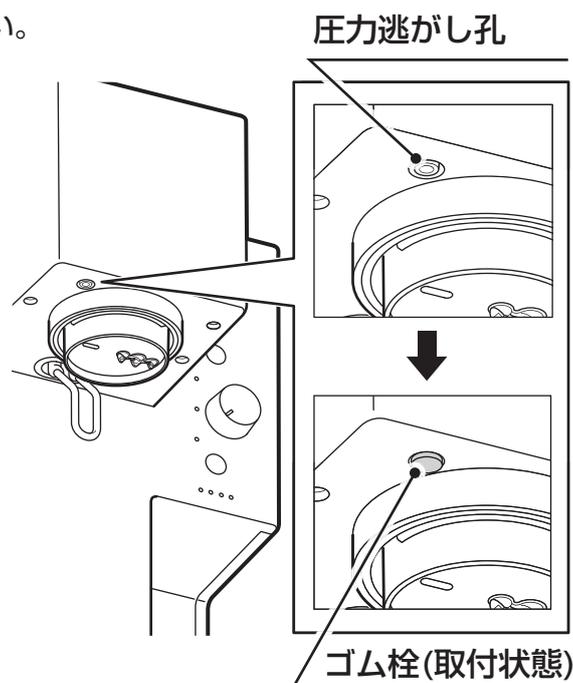
- 本体に残った水、コーヒー粉、コーヒーを取り除き、「排水運転のしかた」(17ページ)に従い排水運転を行ってください。
- 排水運転を行っても排水されなかったときは、次の対応を行ってください。

1 ドリッパーとコーヒーボトルを外す。

- 本体からドリッパーとコーヒーボトルを外してください。

2 本体背面のゴム栓を圧力逃がし孔に挿し込む。

- 本体背面にあるゴム栓を取り外します。[6ページ](#)
- ノズル横にある圧力逃がし孔にしっかりと挿し込んでください。



3 排水運転を行う。

- 「排水運転のしかた」(17ページ)に従い、排水運転を3回以上行ってください。

4 購入時の包装箱、ポリ袋などに入れる。

- ゴム栓は挿したままにしてください。
- お買い上げの販売店にご相談のうえ、本体を返送してください。

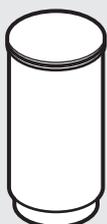
部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、弊社ホームページでもご注文ができます。◀表紙

別売部品

この部品は本コーヒーメーカー用です。他の機器では使用しないでください。
また、仕様は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

※純正品をご使用ください。
コーヒーメーカー本来の性能を発揮できない場合があります。

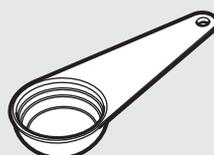


【水タンク】
※ふた付
商品コード：
MC00056



【コーヒーポット】
商品コード：
MC00057

【ボトルフタ】
商品コード：
MC00058



【計量カップ】
商品コード：
MC00059



【ノズル・ドリッパー
セット】
(CLASSIC)
商品コード：
MC00060



【ノズル・ドリッパー
セット】
(NEW WAVE)
商品コード：
MC00061

製品仕様

型名	MC-SVD40A
電源電圧及び周波数	AC100 V 50/60 Hz
定格消費電力	635/635 W
最大使用水量	600 mL
外形寸法(高さ×幅×奥行)	425 mm×227 mm×321 mm
質量	約4.9 kg
電源コードの長さ	1.8 m
安全装置	転倒自動停止装置、停電安全装置、室温異常自動停止装置、過熱防止装置
付属品	計量カップ

長くお使いいただくために

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要になりますので、一緒に保管してください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体1年間です。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本コーヒーメーカーの補修用性能部品は、製造打ち切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。◀19ページ▶▶20ページ▶
- 処置を行っても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

品名：ダイニチコーヒーメーカー
型名：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：機器の状態など、できるだけ詳しく

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代などで構成されています。

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)

携帯電話、スマートフォンからもお問い合わせいただけます。

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

<受付時間>

9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜・日曜・祝日は除く)

※型名(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス
<https://www.dainichi-net.co.jp/support/>

ダイニチ工業 お客様サポート 検索



※通信料などはお客様のご負担となります。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①修理やその確認業務を委託する場合
 - ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関しては、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。



コーヒーマーカー 保証書

型名	MC-SVD40A	製造番号									
お客様	お名前 様										
	ご住所 〒										
	電話番号 (見) 本										
お買い上げ日			販売店名			住所			電話番号		
年 月 日											
保証期間(お買い上げ日から)											
本体1年間											

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

（お客様へお願い）

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。

販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

（ご販売店様へ）

お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し（記入のないときは無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
- ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、使用状況などによる本体の変形・変色
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障や損傷
 - (ニ) 異常電圧、指定外の電源(電圧・周波数)、ほこりなどによる故障や損傷
 - (ホ) 定期点検や内部清掃の費用
 - (ヘ) 一般家庭用以外(たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障や損傷
 - (ト) 本書の提示がないとき
 - (チ) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書(23ページ)をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
 お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110
 ホームページ <https://www.dainichi-net.co.jp/>

